

## 2025年度 同志社大学大学院 司法研究科

### 後期日程入学試験問題 〔小論文〕

---

以下の課題文1及び課題文2を読んで、第1問から第3問に答えなさい。

#### 第1問（配点：30点）

課題文1にしたがって、スポーツにおいてドーピングを禁止すべきとする見解の論拠を300字程度でまとめなさい。

#### 第2問（配点：30点）

課題文1にしたがって、スポーツにおいてドーピングを禁止すべきとする見解に対する反論を300字程度でまとめなさい。

#### 第3問（配点：40点）

課題文2にいう「親が子どもにある特定の遺伝的形質を設（しつら）えてやること」を禁止すべきかどうかについて、第1問及び第2問で述べた視点も踏まえて、600字以内で論じなさい。

出典：【課題文1】米村幸太郎「ドーピングは禁止すべきか？」瀧川裕英ほか『問いかける法哲学』（法律文化社、2016年）所収、【課題文2】マイケル・J・サンデル、林芳紀・伊吹友秀訳『完全な人間を目指さなくてもよい理由—遺伝子操作とエンハンスメントの倫理—』（ナカニシヤ出版、2010年）。出題との関係で、必要な省略、変更又は補足を施している。